

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年3月13日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年3月13日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【既設多核種除去設備共沈タンク(C)苛性ソーダ注入背圧弁の本体フランジ部および配管つなぎ込み部のにじみについて】 既設多核種除去設備共沈タンク(C)苛性ソーダ注入背圧弁の本体フランジ部および配管つなぎ込み部よりにじみを確認。 現場確認結果、にじみの継続や滴下が無いことから、当該部を養生。 次年度の点検時に修理予定。	GⅢ	3月11日
2	【3号機使用済燃料プール監視用カメラの不具合について】 3号機使用済燃料プール監視用カメラの停止を確認。 当該カメラの点検の結果、故障を確認。 今後、当該カメラの取替予定。	GⅢ	3月7日
3	【1号機建屋滞留水移送設備(残水)水位計用計装用空気系ヘッダ供給弁のシート漏えいについて】 1号機建屋滞留水移送設備(残水)水位計用計装用空気系ヘッダの供給系統追加作業時、当該ヘッダ供給弁のシート漏えいを確認。	GⅢ	3月7日
4	【協力企業作業員の電子式線量計の一時不携帯について】 協力企業作業員が厚生棟にて着替えた際、電子式線量計を置き忘れたまま入退域管理棟へ移動。 不携帯時の線量評価を実施。	GⅢ	3月7日
5	【当社社員の電子式線量計の一時不携帯について】 当社社員が免震重要棟にて着替えた際、電子式線量計を置き忘れたまま入退域管理棟へ移動。 不携帯時の線量評価を実施。	GⅢ	3月12日